



ねらい

放射線は目に見えない光のようなもので、たえず空気中を飛んでいることを学ぶ。放射線は色々な働きを持っており、どのような所で利用されているかを学ぶ。

留意点

- 私たちは、宇宙、地面、空気、食べ物など自然界から常に微量の放射線を受けていることを理解させる。
※身近な放射線を紹介することで、子ども達が不安を抱かないように配慮する。
- 日常生活における放射線の利用について、レントゲン以外に、ガンの放射線治療などの例を伝え、理解させる。
- 健康被害について、ガンなどの病気になる原因は、日常生活では放射線による影響は少なく、健康的な暮らしを送ることが大切であることを理解させる。
- 愛知県の放射線の量は、福島第一原子力発電所事故の前後も大きな変化がなく、全国平均と大差がないことを伝える。

【放射線の利用】

放射線は、その特性を生かして様々なところで利用されています。

《ものを通り抜ける働きを利用》

放射線を使って、人体を切らずに、骨折などの様子を見ることができることから、病院ではエックス線（レントゲン）撮影に利用されています。



足の骨折を写したレントゲン写真

《ものを強くする働きを利用》

放射線を使って、強くて丈夫なゴムをつくることのできるから、自動車などのタイヤに利用されています。



丈夫にしたゴムを使った自動車のタイヤ

《細菌退治をする働きを利用》



放射線を使って、細菌の付いていないきれいなものにすることができることから、注射器などに利用されています。

《調査や研究に利用》



放射線を使って、いろいろな調査や研究が行われています。

「放射線のはなし」に関連するSDGs



すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

つくる責任 つかう責任

持続可能な生産消費形態を確保する

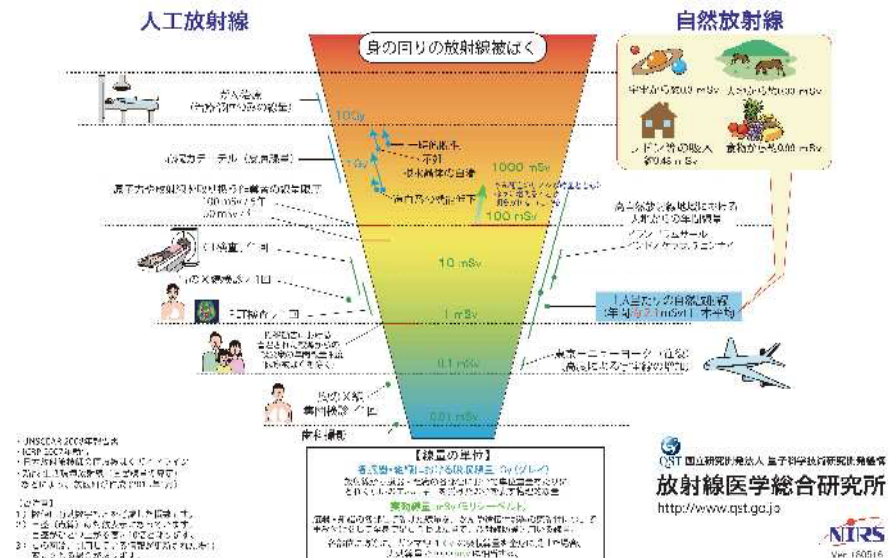
【身の回りの放射線の量】

私たちが受ける放射線には、自然界から受ける自然放射線と医療などの目的で人工的に受ける人工放射線があります。

放射線をたくさん受け過ぎると、ガンややけどなどの病気になることも分かっていますが、一方では様々な利用もされています。

放射線を利用することで良いことも悪いこともあります。放射線を受ける量をできるだけ少なくすることが大切です。

放射線被ばくの早見図



【関連情報】

◇放射線の測定結果などの愛知県のWebページ

<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/katsudo-ka/kuukanhousya.html>

◇放射線についての参考資料

○「放射線副読本（平成30年10月改訂）」（文部科学省）

http://www.mext.go.jp/b_menu/shuppan/sonota/attach/1409776.htm

○「放射線のホント」（復興庁）

http://www.fukko-pr.reconstruction.go.jp/2017/senryaku/pdf/0313houshasen_no_honto.pdf